

Windows プログラミング

第 13 回

Monad Shell

こだか かおる
KODAKA, Kaoru

はじめに

世の中には「コマンドプロンプトって何？」という開発者もいたりして、GUI（グラフィカルユーザーインターフェイス）全盛を感じさせる今日この頃です。とはいえ、Microsoft系のオペ

レベル >>> Level

1 2 3 4 5

言語 >>> Language

- C#
- Monad

ツール >>> Tool

- Visual Studio 2005 Professional
- Windows "Monad" Shell Beta 3.1
- Windows "Monad" Shell Beta 3 Documentation Pack
- Excel 2003

*) 本稿では、Windows "Monad" Shell Betaを英語環境（Windows XP英語版）で検証しています。そのため、掲載画面の一部が日本語版OSの表示と異なります。

レーティングシステムでも、何をやるにもコマンドラインを叩かなくてはならないMS-DOSという時代がありました。

このMS-DOSに続いてWindowsの時代が到来し、CUI（コマンドラインユーザーインターフェイス）はコマンドプロンプト、MS-DOSプロンプトという形で影を潜めることになったのですが、これには理由があります。CUIからGUIへの移行は、「GUIのほうが直感的である」ということ以外にも、「MS-DOS系のCUIが貧弱だったから」という側面を忘れてはいけません。CUIのツールやシェルが充実していたUNIX系のオペレーティングシステムとは異なり、Windows系のオペレーティングシステムではCUI方面での進化はあまり重要視されていませんでした。

とはいえ、まったく進化がなかったわけではありません。特にWindows NT系では、それなりに拡張されています。

また、CygwinやGnuWin32、Service for UNIXなどのツールを使うことで、

Windows環境でもUNIX並みのCUI環境を構築することも可能です。

そんなこんなで、WindowsにおけるCUIの今後についてですが、Windows Vistaの登場により、WindowsにおけるCUIの位置づけも大きく変わる“はず”でした。この“はず”というのがなんともややこしいのですが、コードネーム「Monad」と呼ばれる新しいシェルが、当初はWindows Vistaに搭載される予定だったものの、ウィルス騒動があったりして、いつの間にやら搭載が見送られてしまったのです。

ではこのMonad Shellはどうなる？、という点に注目が集まっているのですが、Exchange Serverの新しいバージョン、Exchange 12に搭載される予定とのこと。今後はMicrosoftの各種製品に搭載されるという噂もありますし、実際に一般ユーザーが手にするのもそれほど遠い未来というわけではなさそうです。ともあれ、今回は新世代のCUIである、このMonad Shellについて紹介していきたいと思います。

Monad Shellをインストールしよう

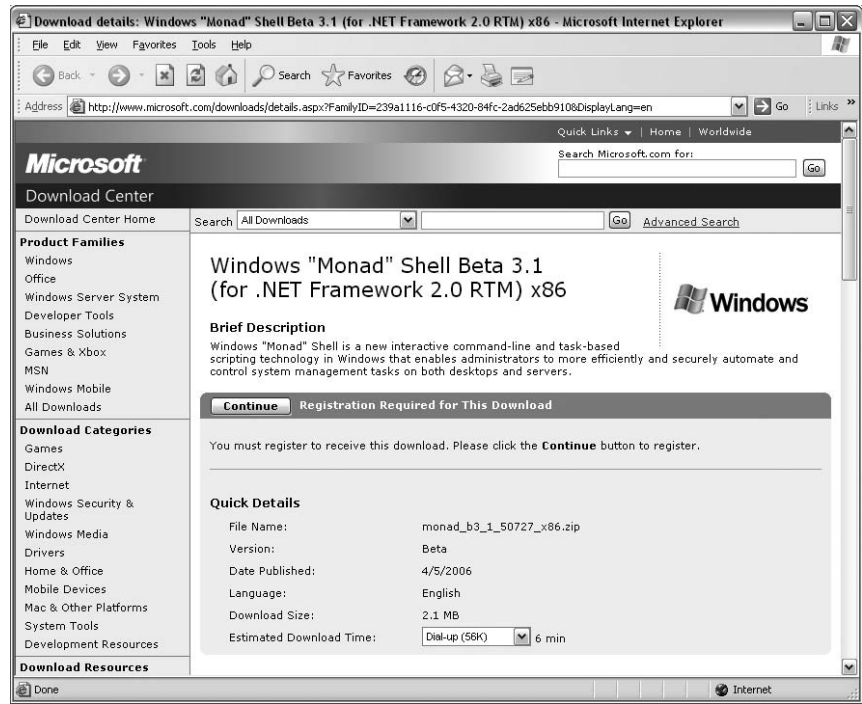
実際に使うためにはとにかくインストールしなくては始まりません。現時点でのMonad Shellの最新バージョンは3.1です。いまだ正式リリースされたことがないベータなのに、3.1というバージョンも不思議ですが、このあたりはあまり気にしないようにしましょう。言い方を変えれば、それだけベータ段階で熟成されているといえるのかもしれない。

このベータ版は、Microsoftのダウンロードセンターからダウンロードできます(図1)。Monad Shell 3.1を利用するには、.NET Framework 2.0のランタイムが必要になりますが、Windows Developer Magazineを読んでいる開発者なら、当然.NET Framework 2.0をインストールしてあることでしょう。

また、ダウンロードには、登録が必要になります。といっても、面倒な登録作業があるわけではなく、単にPassportを持っていればよいだけです。まだPassportを持っていないのであれば、ついでに登録してしまいましょう。ダウンロードセンターからmonad_b3_1_50727_x86.zipをダウンロードして解凍すると、中にリリースノートと「Msh_Setup.msi」というファイルが入っています。リリースノートには、ベータ2からの変更点や追加ドキュメントなどの情報が含まれています。

追加ドキュメントは、「Windows "Monad" Shell Beta 3 Documentation Pack」です。これもダウンロードセンターからダウンロードできるので、あ

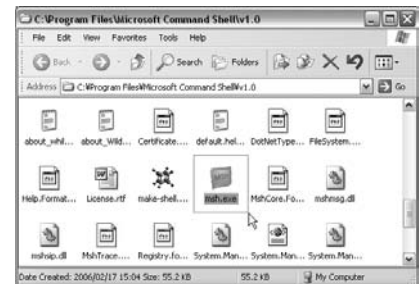
図1：Windows "Monad" Shell Beta 3.1



わせて入手しておきましょう。ランゲージリファレンスをはじめ、多くの参考になる情報が含まれています。ドキュメントはベータ3用となっていますが、3.1でも問題なく利用できます。

先ほど解凍した「Msh_Setup.msi」をインストールすると、既定では「C:\Program Files\Microsoft Command Shell\v1.0」にMonad Shellがインストールされます(図2)。この中のmsh.exeがMonad Shellの実体です。Windows Installerでインストールされているため、プログラムメニューのショートカットからは、どこにインストールされたか調べることはできませんが、Program Files以下のフォルダを探してみると、ここにインストールされていることがわかります。Monad Shellを起動してから、\$MSHHome変数の値を調べることで、このパスを見つけることもで

図2：Monad Shell



きます。

Monad Shellを使ってみる

Monad Shellのインストール自体は、.NET Framework 2.0がインストールされていれば、特に何事もなく終了します。プログラムメニューにある「Microsoft Command Shell」を実行すると、コマンドプロンプトが開きMonad Shell